

## 授業科目

## 保健・医療・福祉連携教育実践法

担当教員名 永井 洋一	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## 授業の概要

高齢化とそれに伴う疾病や障害構造の変化のため、保健医療福祉の分野では多職種による連携と協働(Inter-Professional Work :IPW and Collaboration)が必要になっているが、それを体系的に学ぶ機会が少ない。本科目ではいくつかの事例に基づいて保健・医療・福祉の領域の専門職種がどのように連携を実践していくべきか理論と実践的な方法について学ぶ。併せてIPWを実践するための連携教育(Inter-Professional Education: IPE)を教えるための理論と実践的な方法についても習得する。

## 授業の目的

保健医療福祉専門職間の連携(Inter-Professional Work: IPW), 及びそのための教育(Inter-Professional Education: IPE)を実践するために、IPE及びIPWの理論、実践方法を修得する。

## 学習目標

1. IPEおよびIPWの背景について説明できる。
2. IPEおよびIPWの主な理論について説明できる。
3. IPEおよびIPWの主な実践技法について説明できる。
4. 現場において連携を困難にしている条件について列挙できる。
5. 連携を困難にしている条件を解決するための方法を提言できる。
6. 連携をスムーズに実践するための方法についてプロジェクトを作成できる。
7. IPEおよびIPWの研究について、到達点と課題を明確にすることができる。
8. IPEおよびIPWの研究と実践について、批判的に検討することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	IPEおよびIPWの背景と理論の概略について	講義	永井 洋一
2	IPEおよびIPWの理論について実践現場からの報告をまとめ、批判とそれに対する反論を試みる(第1回)。	演習, 発表, 討議(課題あり)	永井 洋一
3	IPEおよびIPWの理論について実践現場からの報告をまとめ、批判とそれに対する反論を試みる(第2回)。	同上(課題あり)	永井 洋一
4	IPEおよびIPWの理論について実践現場からの報告をまとめ、批判とそれに対する反論を試みる(第3回)。	同上(課題あり)	永井 洋一
5	IPEおよびIPWの理論について実践現場からの報告をまとめ、批判とそれに対する反論を試みる(第4回)。	講義, 演習	永井 洋一
6	現場における連携の困難について挙げ、原因とその解決方法について提言する(第1回)。	講義, 演習	永井 洋一
7	現場における連携の困難について挙げ、原因とその解決方法について提言する(第2回)。	講義, 演習	永井 洋一
8	現場における連携の困難について挙げ、原因とその解決方法について提言する(第3回)。	講義, 演習	永井 洋一
9	現場における連携の困難について挙げ、原因とその解決方法について提言する(第4回)。	講義, 演習	永井 洋一
10	専門職間の連携を職場に導入するプロジェクトを立案し、発表する。(第1回)	個別情報収集	永井 洋一
11	専門職間の連携を職場に導入するプロジェクトを立案し、発表する。(第2回)	グループ学習	永井 洋一
12	専門職間の連携を職場に導入するプロジェクトを立案し、発表する。(第3回)	グループ学習	永井 洋一
13	専門職間の連携を職場に導入するプロジェクトを立案し、発表する。(第4回)	発表(グループ毎)	永井 洋一
14	IPEおよびIPWに関する最新の研究の動向を調査し、今後の課題を指摘する。(第1回)	個別活動	永井 洋一
15	IPEおよびIPWに関する最新の研究の動向を調査し、今後の課題を指摘する。(第2回)	発表(個別)	永井 洋一

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	役に立つ専門職連携教育-開発・提供・評価	高橋榮明（監修）	新潟医療福祉大学 他	2011年		
	役に立つ専門職連携教育-議論・仮説・根拠	高橋榮明（監修）	新潟医療福祉大学	2011年		
	IPWを学ぶ-利用者中心の保健医療福祉連携	埼玉県立大学	中央法規	2009年	2,800円+税	
	チームケア論-医療と福祉の統合サービスを目指して	鷹野和美	ばる出版	2008年	2,500円+税	
その他の資料						

## 評価方法

授業参加の度合い(30%), レポート：連携の困難とその解決方法(30%), プロジェクトの完成度(40%)

## 履修上の留意点

後半はグループごとの課題となるので、他のメンバーに迷惑をかけることのないよう配慮が必要である。また、履修者の都合に合わせて休日の集中講義形式とすることも考慮する。1年次だけでなく、2年次の学生の履修も歓迎する。

## オフィスアワー・連絡先

Office Hour: 原則として毎週木曜日19:00~20:00

連絡先: nagai@nuhw.ac.jp